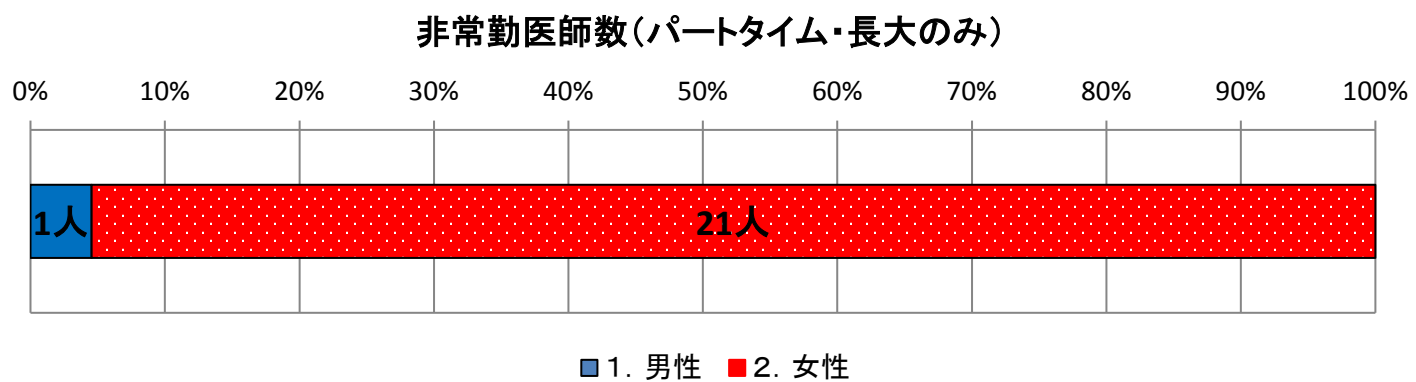
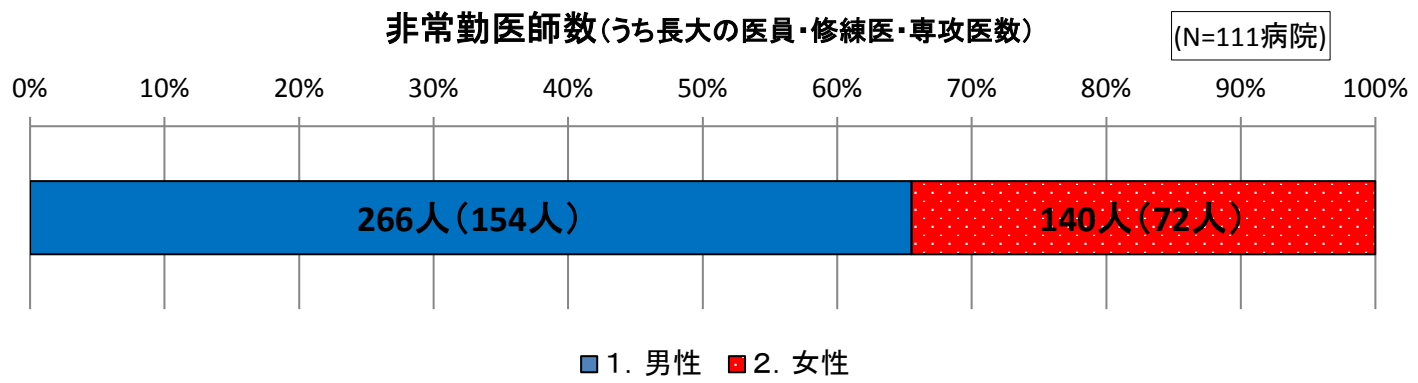
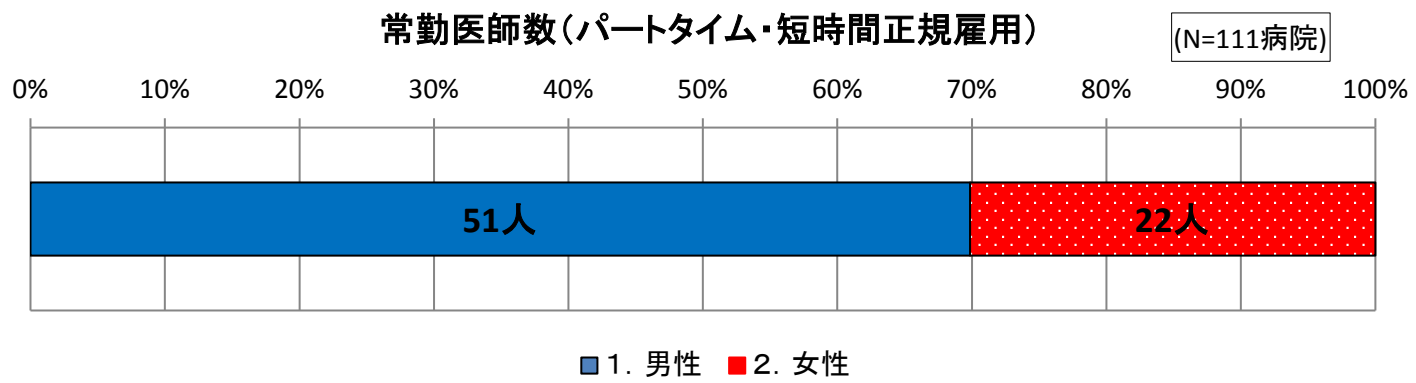
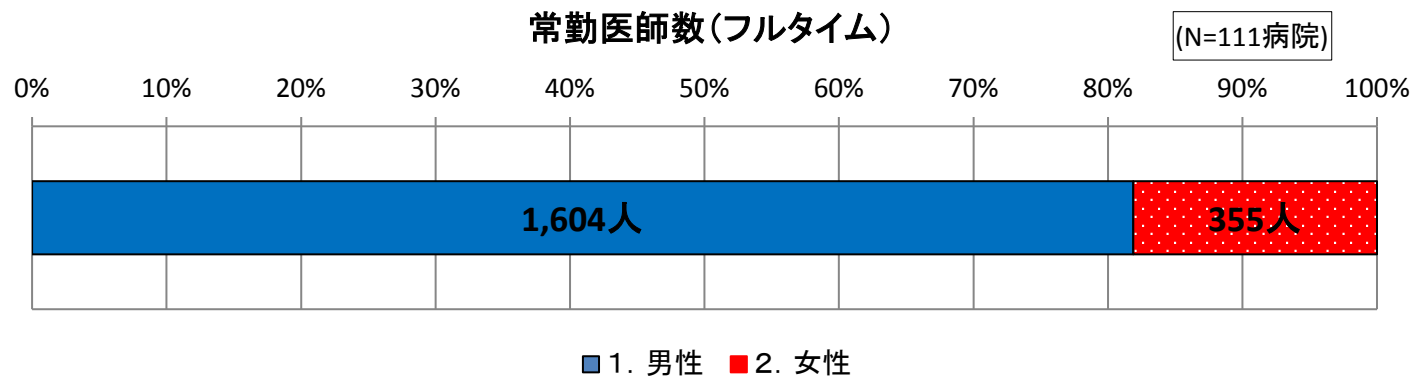


2020年度医師の両立支援状況調査報告-149病院 <抜粋>

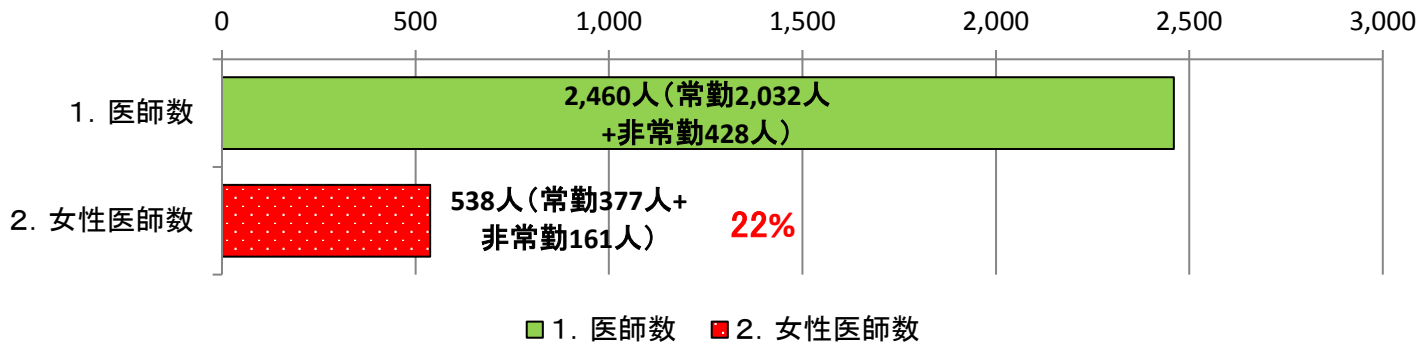
2020年6月調査
調査対象:149病院
回答:111病院
回答率:74%



2020年度医師の両立支援状況調査報告-149病院 <抜粋>

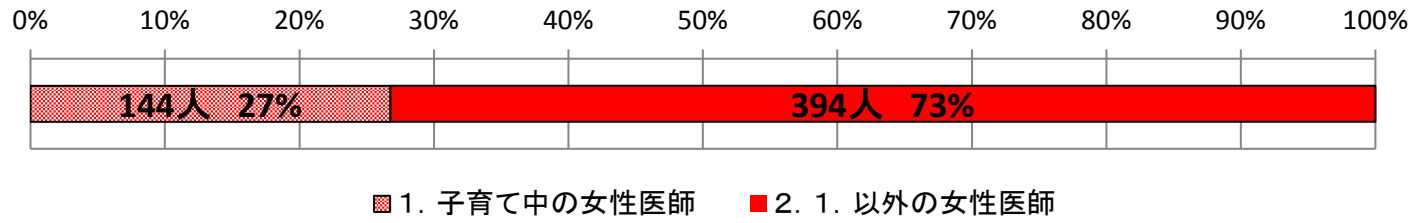
医師数(常勤+非常勤)と女性医師数

(N=111病院)



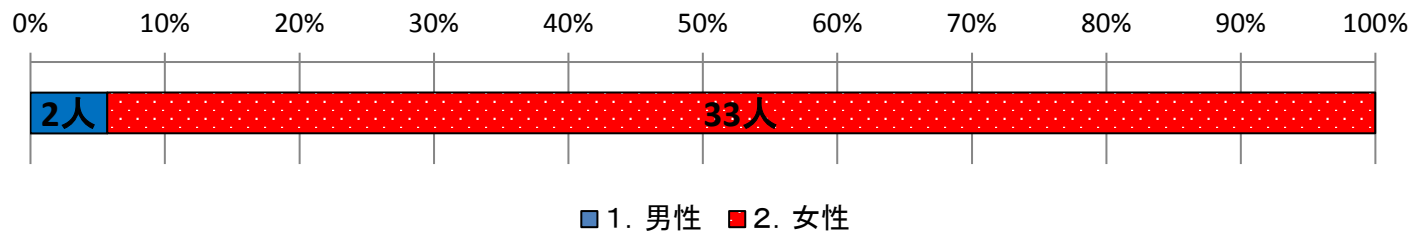
子育て中の女性医師の割合 (常勤+非常勤の女性医師のうち)

(N=538人女性医師)



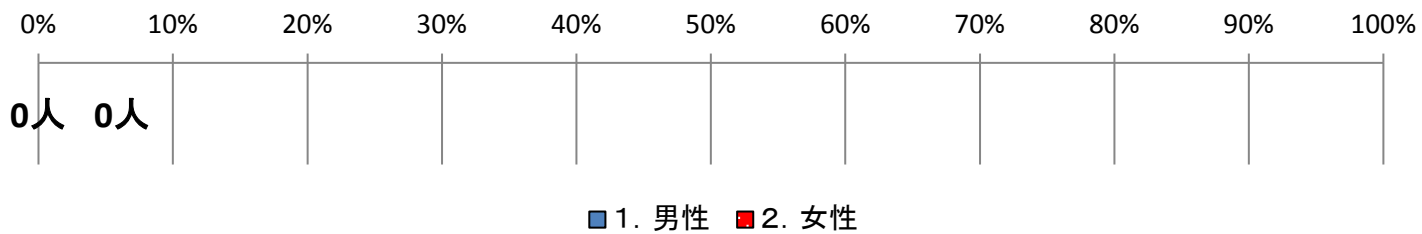
育児休業を取得した医師数

(N=111病院)



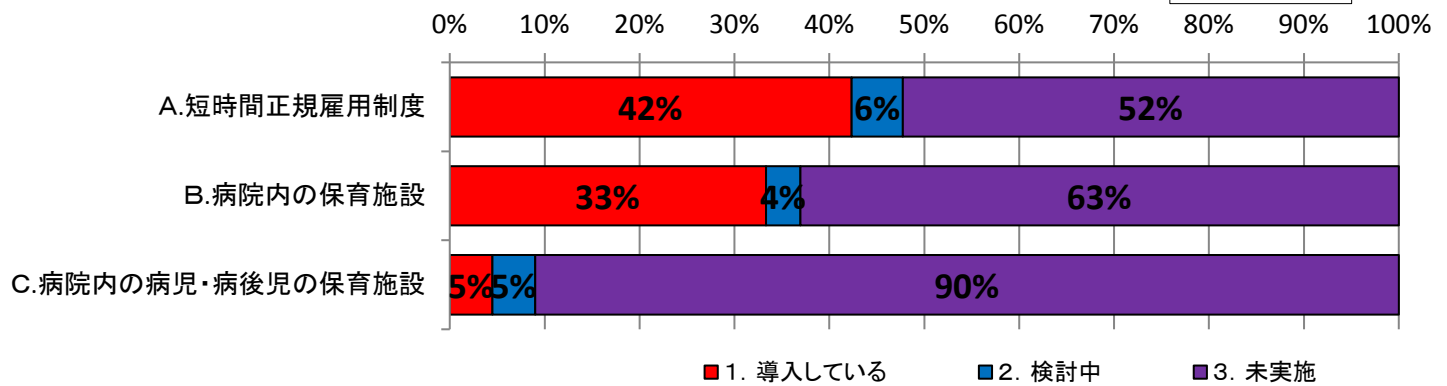
介護休業を取得した医師数

(N=111病院)



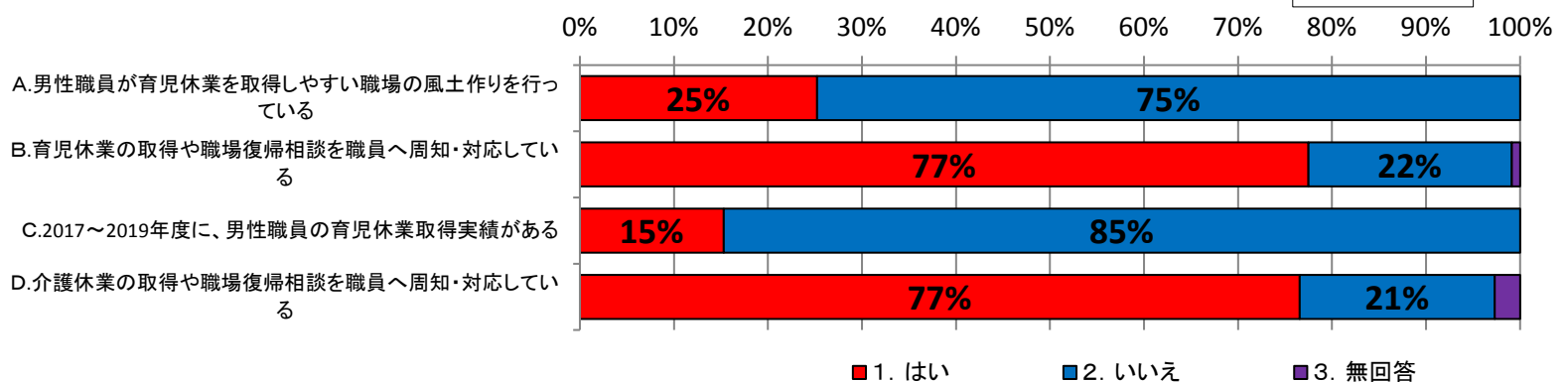
両立支援制度や施設

(N=111病院)



両立支援に関する取組状況

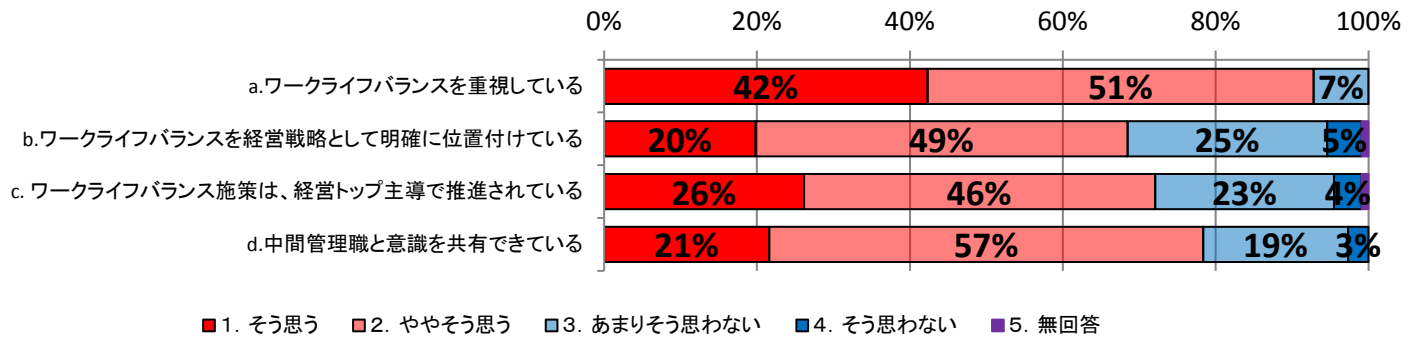
(N=111病院)



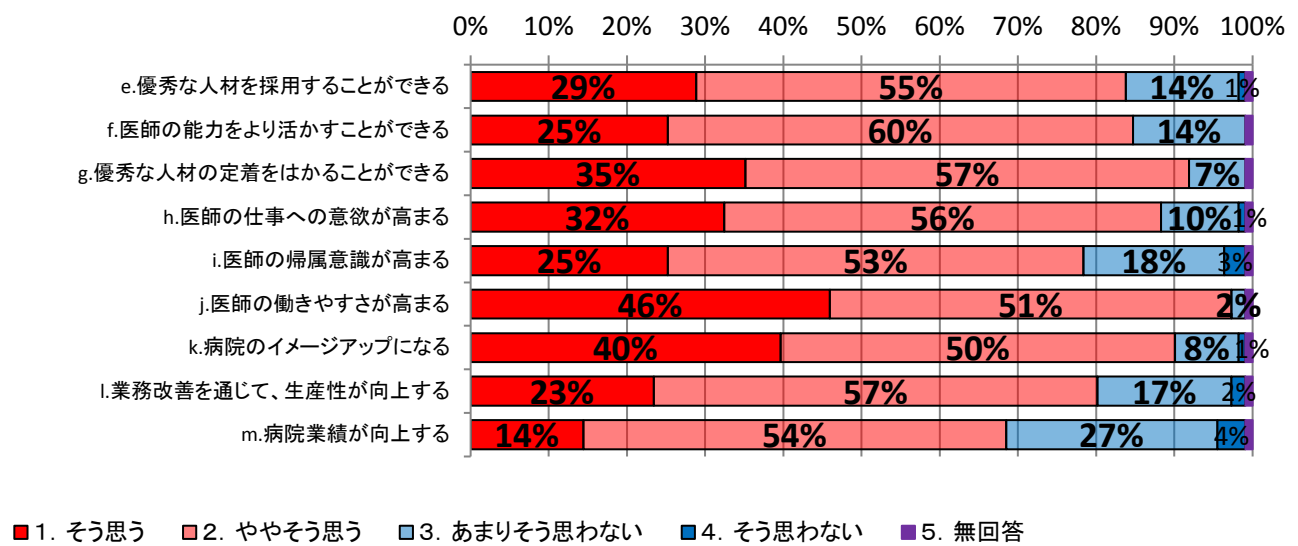
2020年度医師の両立支援状況調査報告-149病院 <抜粋>

ワークライフバランス施策についてどのようにお考えですか <基本的スタンス・姿勢について>

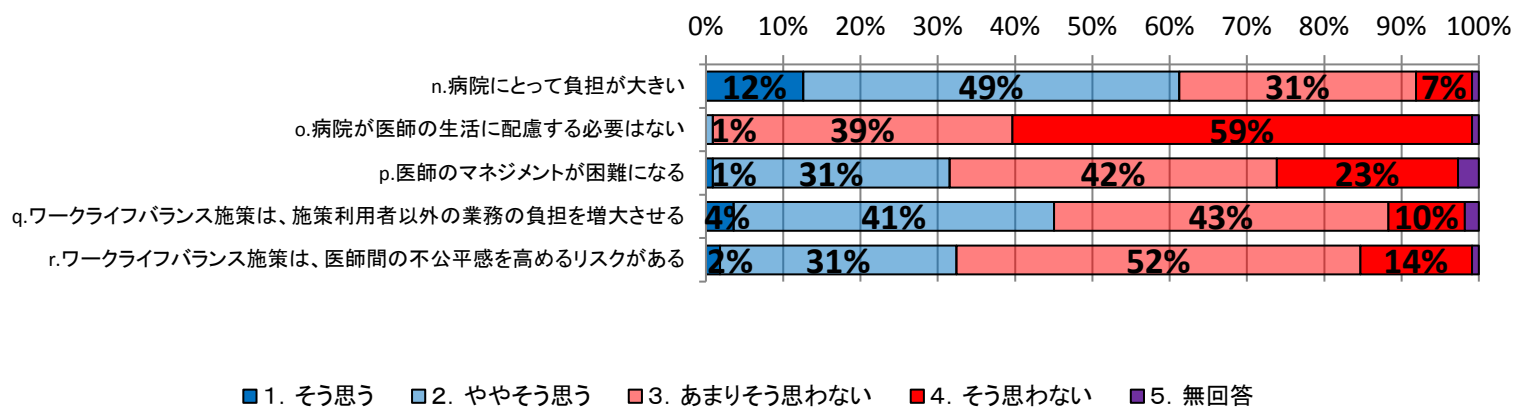
(N=111病院)



<メリットについて>

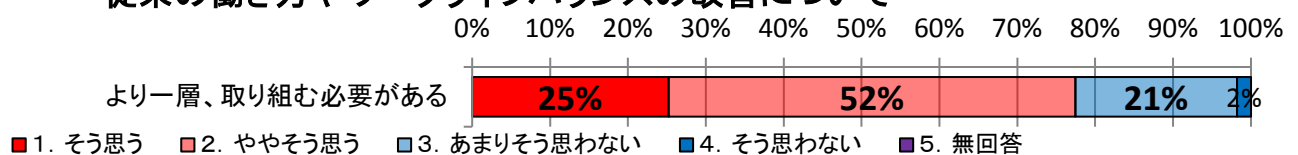


<デメリットについて>



新型コロナウイルス感染症をきっかけに、 従来の働き方やワークライフバランスの改善について

(N=111病院)



両立支援に関するご意見

・感染症の影響で、子育て中の職員が、預け先がない等で勤務ができないという状況となった。代替人員の余裕のない現状であり、一部に負荷がかかった。

・昭和の時代を経験してきた現在の管理職の意識改革は、かなり困難。令和の新元号となった現代では、現役世代の医師が働きやすい環境作りが重要だろう。医師や病院のみならず、患者などの意識変容も必須になってくると考える。

・遠隔診療等の感染防止につながるシステム導入を、行政主導でスピーディーにやっていただきたい。

・医師の両立支援を進めていく中で、医師の補充を含め、対象者以外の医師の業務負担軽減に苦慮しています。